

黒磯高校で生徒が目指す8つの力 (R7～)

知識・技能		思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度	
基礎学力	読解力	自己理解力	課題発見力	課題解決力	表現力	主体性	協働性
夢や目標実現に向け、また社会において活躍できる人材となるための基盤的知識が身についている。	リテラシーを身に付けると共に、文章やデータを理解し、解釈し分析できる。	自己を認め肯定し、ありのままを受け入れ他者との違いを理解することができる。	急激に変化する現代において、常に新しい課題に気づき疑問を持つことができる。	困難な状況においても物事を前向きにとらえ、見つけた課題解決にチャレンジできる。	ICT活用を工夫し、自分の考えやメッセージを的確にかつ効率的に表現できる。	自律的に行動し、自ら学ぶ姿勢を育み、継続的に行動できる。	思いやりの気持ちを持ち、一人ひとりの多様な幸せと、社会全体の幸せのために、ルールの遵守や、マナーを考慮できる。

8つの力・自己評価表 (R7～)

	評価項目	5 (非常に優れている) 【到達目標】	4 (十分に満足できる) 【履修目標】	3 (やや努力を要する)	2 (努力を要する)	1 (非常に不足)
知識・技能	基礎学力	高度な知識と理解力を持ち、複雑な問題や概念を正確に説明し、関連付けることができる	多くの知識を身につけ、その概念についても理解しており、その問題や概念について説明できる	基本的な知識を理解しており、一般的な問題を自分の言葉で説明できる	基本的な知識をある程度理解しているが、自分の言葉で説明できない	基本的な知識をほとんど理解していない
	読解力	複雑な文章やデータを正確に理解・分析し、的確な口頭説明や要約ができる	ほとんどの文章やデータを理解・分析し、口頭説明や要約ができる	一般的な文章やデータを理解・分析でき、口頭説明や要約ができる	簡単な文章やデータを理解・分析でき、口頭説明や要約ができる	簡単な文章やデータの理解・分析が難しく、口頭説明や要約もできない
思考・判断・表現	自己理解力	自分の強みや弱みを深く理解し適切に表現できる。また、他者の感情や意図を深く理解し効果的なコミュニケーションを取ることができ、相手の立場や視点を尊重できる	自分の強みや弱みをよく理解しており、感情や思考について一定の認識がある。また、他者の感情や意図を理解し、適切なコミュニケーションを取れる	自分の強みや弱みをある程度理解し、感情や思考についての認識に不十分な点はあるが、他者の感情や意図について基本的な理解ができる。コミュニケーションを取ることができる	自分の強みや弱みの理解や、感情・思考についての認識に不十分な点があるものの、他者の感情や意図についてある程度理解ができ、必要なコミュニケーションを取ることができる	自己認識がほとんどなく、自分の感情や思考を把握できない。また、他者の感情や意図においても理解ができず、コミュニケーションに問題がある
	課題発見力	問題の根本原因を的確に特定し、多角的に分析して主要な課題を明確にすることができる	基本的な分析や根本原因の把握ができ、主な課題を的確に特定できる	分析や根本原因の発見ができ、基本的な課題を特定できる	問題の原因や分析はある程度できるが、課題の特定が困難である	問題の根本原因や詳細な分析ができず、課題をほとんど特定できない
	課題解決力	必要な情報を効率的に収集し、信頼性の高いデータを基に課題を正確に分析し、解決に向けて積極的に主体的な行動を取ることができる	関連性のある情報を適切に収集し、課題分析に役に立て解決に向けて行動ができる	基本的な情報を収集でき、集めたデータの信頼性や関連性から課題を分析するなど、データの活用とアプローチができる	情報収集に困難があるものの、収集したデータから課題分析をおこない、基本的なアプローチができる	情報収集がほとんどできず、課題の分析に必要なデータが不十分であり、アプローチがほとんどできない
	表現力	高度なICTツールを自在に使いこなし、複雑なデータや情報を効果的に視覚化できる。それを活用して視覚的、聴覚的要素を適切に組み合わせ他者に明確にメッセージを伝えることができる	応用的にICTツールを効果的に活用し、情報やデータを分かりやすく視覚化できる。それを活用し、他者にメッセージを十分に伝えることができる	基本的なICTツールを使いこなし、情報やデータを視覚化できる。それを使用してメッセージを伝える際、相手にうまく伝えることができる	ICTツールの使用に困難があるものの、サポートを受けながら基本的な情報やデータの視覚化ができ、メッセージを伝えることはできる	ICTツールを使用せず、サポートがあっても情報やデータの視覚化ができない。視覚的、聴覚的要素の組み合わせがほとんどなく、メッセージが伝わらない
主体的に学習に取り組む態度	主体性	目標達成後も新たな目標を設定し、達成に向けて継続して努力し取り組み続けることができる	自ら目標を設定でき、達成のために継続して努力し取り組むことができる	自ら目標を設定でき、取り組みが行える	他者から目標を設定され、取り組みを行える	目標を設定できない
	協働性	他者と協力しながら率先して主体的行動がとれ、ルールやマナーを遵守した生活を送れる	他者と協力しながら主体的行動がとれ、ルールやマナーを遵守した生活を送れる	他者からの協力を受け入れられ、ルールマナーを遵守できる	他者との協力が不十分であるが、ルールやマナーをある程度遵守できる	他者との協力が取れず、ルールやマナーを遵守できない

※1 横浜国立大学「教員向けルーブリック作成マニュアル」を参考に作成 ※2 事前に各教科で検討したグランドデザインをもとに、学校経営方針、並びに重点目標を参考に評価項目を設定している